

修正日	修正ページ等
2020/10/22	125, 138
2020/10/27	155, 185, 187, 270, 297, 323, 353, 369, 526, 531, 536, 565
2020/11/11	140, 379, 404, 410, 573
2020/11/17	552, 553
2020/11/26	561
2020/12/1	484, 517
2020/12/8	131
2020/12/10	191
2020/12/21	484, 485, 511, 515, 518
2020/12/25	290, 297, 316, 319, 345, 352, 353
2021/1/21	410
2021/4/21	157, 189, 214
2021/4/23	273
2021/6/15	297, 298, 301, 323, 324, 000, 000
2021/7/9	154
2021/7/29	599
2021/10/11	633
2021/10/19	222
2021/10/20	197
2021/11/9	266
2022/1/13	47
2022/2/22	348
2022/8/10	353

※ダウンロードデータに係る内容は、ダウンロードファイルを修正していますので、再度ダウンロードをお願いします。

ページ	項番	図表等	誤	正																						
47	第1章 基本的な考え方	表1.7-14-2 小口径管推進工法用高耐力管推進工法 仮設立坑（発進・到達部）（参考）	ライナープレート式 泥土圧式 スクリュー排土 ・呼び径350～400 発進部 6,140×2,500 ・呼び径450～500 発進部 6,140×2,500 泥土圧式 圧送排土 ・呼び径400～500 発進部 6,111×3,000	ライナープレート式 泥土圧式 スクリュー排土 ・呼び径350～400 発進部 6,140×3,000 ・呼び径450～500 発進部 6,140×3,000 泥土圧式 圧送排土 ・呼び径400～500 発進部 6,111×2,500																						
125	第2章 積算 2.3.1 ライナープレート式	表2.3.1-2 適用する掘削深さ	吊り機械の深さ区分を追記 表 2.3.1-2 適用する掘削深さ <table border="1"> <tr> <th>ライナープレート形状</th> <th colspan="2">円形・小判形 径 2,000～7,000mm、短径 2,000～6,000mm</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用機械</td> <td>吊り機械</td> <td>トラック（クレーン装置付） 4t級、2.9t吊</td> </tr> <tr> <td>掘削機械</td> <td>バックホウクローラ型 排出ガス対策型 （第1次基準） （山積・平積） 0.45/0.35 m²</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最大掘削深さ</td> <td>4.0mまで</td> </tr> </table>	ライナープレート形状	円形・小判形 径 2,000～7,000mm、短径 2,000～6,000mm		使用機械	吊り機械	トラック（クレーン装置付） 4t級、2.9t吊	掘削機械	バックホウクローラ型 排出ガス対策型 （第1次基準） （山積・平積） 0.45/0.35 m ²	最大掘削深さ		4.0mまで	表 2.3.1-2 適用する掘削深さ <table border="1"> <tr> <th>ライナープレート形状</th> <th colspan="2">円形・小判形 径 2,000～7,000mm、短径 2,000～6,000mm</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用機械</td> <td>吊り機械</td> <td>トラック（クレーン装置付） 4t級、2.9t吊</td> </tr> <tr> <td>掘削機械</td> <td>バックホウクローラ型 排出ガス対策型 （第1次基準） （山積・平積） 0.45/0.35 m²</td> </tr> <tr> <td colspan="2">最大掘削深さ</td> <td>4.0mまで</td> </tr> </table>	ライナープレート形状	円形・小判形 径 2,000～7,000mm、短径 2,000～6,000mm		使用機械	吊り機械	トラック（クレーン装置付） 4t級、2.9t吊	掘削機械	バックホウクローラ型 排出ガス対策型 （第1次基準） （山積・平積） 0.45/0.35 m ²	最大掘削深さ		4.0mまで
ライナープレート形状	円形・小判形 径 2,000～7,000mm、短径 2,000～6,000mm																									
使用機械	吊り機械	トラック（クレーン装置付） 4t級、2.9t吊																								
	掘削機械	バックホウクローラ型 排出ガス対策型 （第1次基準） （山積・平積） 0.45/0.35 m ²																								
最大掘削深さ		4.0mまで																								
ライナープレート形状	円形・小判形 径 2,000～7,000mm、短径 2,000～6,000mm																									
使用機械	吊り機械	トラック（クレーン装置付） 4t級、2.9t吊																								
	掘削機械	バックホウクローラ型 排出ガス対策型 （第1次基準） （山積・平積） 0.45/0.35 m ²																								
最大掘削深さ		4.0mまで																								
131	第2章 積算 2.3.1 ライナープレート式	表2.3.1-12及び表2.3.1-14 小判形ライナープレート1日当り配置人員及び1m当りの施工量	ダウンロードデータ表内容誤表示 短径 項目 最下段	両表とも短径 最下段 5,200 ～ 6,000 に統一																						
138	第2章 積算 2.3.1 ライナープレート式	D-422-1 ライナープレート掘削土留め	クレーン等項目訂正：ラフテレーンクレーン賃料	トラック（クレーン装置付）、またはラフテレーンクレーン賃料																						
140	第2章 積算 2.3.1 ライナープレート式	D-423-1 ライナープレート取除き工	クレーン等項目訂正：ラフテレーンクレーン賃料	トラック（クレーン装置付）、またはラフテレーンクレーン賃料																						
154	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	表9-2 1m当りの標準施工時間（a）	表中、適用範囲訂正 砂質土 N<50 礫質土 N<50	砂質土 50<N 礫質土 50<N																						
155	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-1-4 ケーシング撤去工	備考：撤去長 L（m）=π+ケーシング呼び径+ケーシング撤去長×4	L（m）=π×ケーシング呼び径+ケーシング撤去長×4																						
157	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-2-1 底部コンクリート打設工	備考：コンクリート配合訂正 318-8-20 (25)	18-8-20 (25)																						
185	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	表9-3 クラムシェル、トラッククレーン、ラフテレーンクレーン規格	ラフテレーンクレーン規格漏れ	16 t 吊																						

正誤表箇所			誤	正
ページ	項番	図表等		
187	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-4-1 ケーシング切断工	種目：特殊作業員	種目：溶接工
189	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-5-1 底部コンクリート打設工	備考：コンクリート配合訂正 30-18-20 (25)	24-8-20 (25)
191	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-13 機械積込み・積降し	ラフテレーンクレーン賃料 適用欄 参照表修正 表-15	表9-13
197	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	表9-23 クラムシェルうんたん1時間当り歩掛	軽油数量訂正 ※ダウンロードデータのみ 平積0.20m3：6.30、平積0.30m3：9.80、平積0.40m3：160、平積0.60m3：170	平積0.20m3：7.20、平積0.30m3：110、平積0.40m3：180、平積0.60m3：200
214	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-5-1 底部コンクリート打設工	備考：コンクリート配合訂正 30-18-20 (25)	24-8-20 (25)
222	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	表9-22 クラムシェルうんたん1時間当り歩掛	軽油数量訂正 ※ダウンロードデータのみ 平積0.20m3：6.30、平積0.30m3：9.80、平積0.40m3：160、平積0.60m3：170	平積0.20m3：7.20、平積0.30m3：110、平積0.40m3：180、平積0.60m3：200
266	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-2-4-1 ケーシング切断工	摘要欄訂正 計 10m当り	摘要欄 計 削除
270	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-7-1 ダンプトラック運転工	項目ダンプトラック運転費の数量：0.16台	誤植により数量削除
273	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-1-1 底部コンクリート打設工	備考：コンクリート配合訂正 30-18-20 (25)	18-8-20 (25)
290	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	B-76 鋼製ケーシング式土留工および土工	※ダウンロードデータ ・底盤コンクリート ・C代価等 D-7 レイタンス運搬処理	・底盤コンクリート 摘要する表9-1を追記 ・C-7 レイタンス運搬処理
297	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-7 レイタンス運搬処理工	代価番号訂正：D-7 レイタンス運搬処理工	C-7 レイタンス運搬処理
297	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-10 泥水処分工	項目の単位訂正：時間	単位：日
297	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-10 泥水処分工	上記修正取止め	上記修正取止め
298	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	泥水10m3当りの運転時間（表）	項目単位修正：運転日数（日） ※2箇所	運転時間（時） ※2箇所
301	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-14 ケーシング撤去工	種目修正：溶接工	特殊作業員
316	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	B-76 鋼製ケーシング式土留工および土工	項目単位修正：底盤コンクリート単位： m3	単位：箇所
319	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-2 底盤コンクリート工	・表題修正：C-2 底盤コンクリート工 ・表単位修正：（1m3当り）	・C-2 底盤コンクリート ・（1箇所当り）
323	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-10 泥水処分工	項目の単位訂正：時間	単位：日
324	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	泥水10m3当りの運転時間（表）	項目単位修正：運転日数（日） ※2箇所	運転時間（時） ※2箇所
345	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	B-76 鋼製ケーシング式土留工および土工	※ダウンロードデータ ・底盤コンクリート ・C代価等 D-7 レイタンス運搬処理	・底盤コンクリート 摘要する表9-1を追記 ・C-7 レイタンス運搬処理
348	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-3 ケーシング引上げ工	トラッククレーン形状寸法修正 4.8t～4.9t吊	25 t 吊
352	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-7 レイタンス運搬処理工	表題変更：C-7 レイタンス運搬処理工	C-7 レイタンス運搬処理
353	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-9 レイタンス処理工	・表題変更 C-9 レイタンス処理工 ・各人工数量追記	・D-9 レイタンス処理工 ・土木一般世話役：0.17人、特殊作業員：0.17人、普通作業員：0.17人
353	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	C-10 泥水処分工	・表題変更 C-10 泥水処分工 ・各項目の単位訂正：時間	・D-10 泥水処分工 ・単位：日
358	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-14 ケーシング撤去工	種目修正：溶接工	特殊作業員
369	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	5. 機械構成	バックホウ仕様追記	8) バックホウ（平積0.35m ³ ）
379	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-15 機械移設工	トラック仕様追記	計上・寸法 11 t
404	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-9 機械移設工	トラック仕様追記、数量訂正：8時間	計上・寸法 11 t 数量：1時間

正誤表箇所			誤				正																																																																																																					
ページ	項番	図表等	表記内容変更				表記内容変更																																																																																																					
410	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-19 機器輸送費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形状・寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価</th> <th>金額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入機械</td> <td></td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>往復</td> </tr> <tr> <td>圧入機付属機器</td> <td></td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>圧入機付属機器</td> <td></td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ロックブレーカ</td> <td></td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>" (必要時)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				種 目	形状・寸法	単位	数量	単価	金額	摘 要	圧入機械		台	2			往復	圧入機付属機器		台	2			"	圧入機付属機器		台	2			"	ロックブレーカ		台	2			" (必要時)	計							<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼 び 径</th> <th>形状・寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>単価</th> <th>金額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1500・1800・2000</td> <td>25t積トレーラー (1台往復)</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>往復</td> </tr> <tr> <td>11t積トラック (1台往復)</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2500・3000</td> <td>32t積トレーラー (1台往復)</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>25t積トレーラー (1台往復)</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>11t積トラック (1台往復)</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ロックブレーカ</td> <td>4t積トラック</td> <td>台</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>" (必要時)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：輸送機器は、圧入機械、掘削機械、および圧入機附属機器である。</p>							呼 び 径	形状・寸法	単位	数量	単価	金額	摘 要	1500・1800・2000	25t積トレーラー (1台往復)	台	2			往復	11t積トラック (1台往復)	台	2			"	2500・3000	32t積トレーラー (1台往復)	台	2			"	25t積トレーラー (1台往復)	台	2			"	11t積トラック (1台往復)	台	2			"	ロックブレーカ	4t積トラック	台	2			" (必要時)	計						
種 目	形状・寸法	単位	数量	単価	金額	摘 要																																																																																																						
圧入機械		台	2			往復																																																																																																						
圧入機付属機器		台	2			"																																																																																																						
圧入機付属機器		台	2			"																																																																																																						
ロックブレーカ		台	2			" (必要時)																																																																																																						
計																																																																																																												
呼 び 径	形状・寸法	単位	数量	単価	金額	摘 要																																																																																																						
1500・1800・2000	25t積トレーラー (1台往復)	台	2			往復																																																																																																						
	11t積トラック (1台往復)	台	2			"																																																																																																						
2500・3000	32t積トレーラー (1台往復)	台	2			"																																																																																																						
	25t積トレーラー (1台往復)	台	2			"																																																																																																						
	11t積トラック (1台往復)	台	2			"																																																																																																						
ロックブレーカ	4t積トラック	台	2			" (必要時)																																																																																																						
計																																																																																																												
410	第2章 積算 2.3.2 ケーシング立坑	D-19 機器輸送費 D-20 機器積込み積降し	代価番号修正 D-19 機器輸送費 D-20 機器積込み積降し				D-11 機器輸送費 D-12 機器積込み積降し																																																																																																					
484	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	C-8-2 機器積込み積降し	ダウンロードデータ表内容誤表示 トラッククレーン賃料 摘要欄 参照表番号訂正 表9-17				表9-11																																																																																																					
484	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-2 底部工	砕石基礎工 項目削除 砕石基礎工 備考追記				備考 底部工は、インパートを考慮して適正に処理すること。																																																																																																					
484	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-2-1 コンクリート工	備考欄、諸雑費摘要欄 記載漏れ				諸雑費摘要欄 備考2 備考 1. コンクリートの配合は、30-18-20(25)を標準とする。 2. 諸雑費は、シュート・ホッパー損料等に関する費用であり、労務費の合計額に4%を乗じた金額を上限として計上する																																																																																																					
485	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-2-2 モルタル上塗り工	モルタル工単位：m				モルタル工単位：m ³																																																																																																					
511	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	C-3 底盤コンクリート	底盤コンクリート打設工単位：m				底盤コンクリート打設工単位：m ³																																																																																																					
515	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-10-1 スライム処理工	特殊作業員、普通作業員適用欄：表-21				特殊作業員、普通作業員適用欄：表8-18																																																																																																					
517	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	表8-21 円形覆工板設置工・撤去工歩掛	クレーン付トラック運搬費（時間）数量訂正：円形覆工板撤去工 0.08 時間				数量：0.80 時間																																																																																																					
518	第2章 積算 2.3.4 ケーシング立坑	D-11-3 円形覆工板開閉工	ダウンロードデータ表内容誤表示 特殊作業員項目				特殊作業員項目削除																																																																																																					
526	第2章 積算 第4節 埋戻し工	表2.4-5 機械運転単価	小型バックホウ 適用単価表：機-18、摘要欄				小型バックホウ 適用単価表：機-1として各機種統一、摘要欄：削除																																																																																																					
531	第2章 積算 第5節 基礎コンクリート工	D-7-1 基礎砕石工	バックホウ運転 単価表欠落				表2.4-6 運転1日当り単価表を追加 表2.4-6 運転1日当り単価表（機-18）（参考） <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 目</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数 量</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特殊運転手</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料費</td> <td></td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機械損料</td> <td></td> <td>供用日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							種 目	形状寸法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	特殊運転手		人					燃料費		ℓ					機械損料		供用日					諸雑費		式					計																																																											
種 目	形状寸法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要																																																																																																						
特殊運転手		人																																																																																																										
燃料費		ℓ																																																																																																										
機械損料		供用日																																																																																																										
諸雑費		式																																																																																																										
計																																																																																																												
536	第2章 積算 第6節 路面覆工	E-14 運転1日当り単価表（機-28）	表題変更：運転1日当り単価表（機-28）				運転1日当り単価表（機-18）																																																																																																					
552	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	表2.7-8 立坑内鋼材設置撤去工歩掛	ダウンロードデータ表内容誤表示				ダウンロードデータを図書内容項目に修正																																																																																																					
553	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	表2.7-9 立坑内鋼材設置撤去工（既設構造物）歩掛（参考）	ダウンロードデータ表内容誤表示				ダウンロードデータを図書内容項目に修正																																																																																																					
553	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	表2.7-10 立坑内鋼材搬出入工（既設構造物）歩掛（参考）	ラフテレーンクレーン賃料：2.03（日）				ラフテレーンクレーン賃料：2.0（日）																																																																																																					
561	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	表 2.7-20 配線配管用ラック及び通路用敷鉄板数量	単管パイプの数量訂正：5.0m × 4 重量計：186.48				単管パイプ 数量：5.0m × 3 重量計：175.56																																																																																																					

正誤表箇所			誤	正
ページ	項番	図表等		
565	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	D-13-1 仮設階段設置用材料費	備考記載修正 備考 1. 単管パイプ、仮設階段、鋼製布板の損料限度額は、基礎価格の90%とする。 2. パイプベース、クランプ、パイプ継手の損耗率は、「建設機材等損料算定表」による。 3. 諸雑費として、材料費合計額の3%を上限として計上できる。	備考 1. 仮設階段材料は賃料とする。 2. 諸雑費として、材料費合計額の3%を上限として計上できる。
573	第2章 積算 第7節 発進・到達施設における設備工	D-13-13 電動機設備工	電工数量追記	電工：1.44人
599	参考	既設構造物への直接到達を可能とする工法	工法追加	該当工法として、⑩外筒残置式推進工法（超泥水加圧推進協会）を追加 データは、ダウンロード画面の”一括ダウンロード（33,501kB）”に格納
633	引用問合せ一覧表	No.1 アート工法	メールアドレス訂正 誤：ta@sanwakizai.co.jp	訂正 info@art-koho.gr.jp